

## 第67回見学会レジュメ「猫城跡」

南九州市<sup>そいちょうりょう</sup>穎娃町御領に所在する猫城（猫之城）は標高約 95m～100mの<sup>たかみねやま</sup>高嶺山をさす。

慶長4年（1599年）に日向国庄内（宮崎県都城市及びその周辺）で起きた、島津氏とその重臣である伊集院氏との争乱であるが、徳川家康の仲介により伊集院忠真は穎娃に1万石を与えられ帖佐へ移るまでの約7か月をこの地で過ごした。<sup>いじゅういんただね</sup>穎娃麓の区割りや猫城の構築の功労が地元では噂されており、<sup>ただね</sup>忠実が係った伝承がある。夥しい区割りと石積みの段が、それを示している可能性もある。赤点線は主体部、黄色線は登城道、登城口には享保15（1730）年年号のある遊女伊勢光の墓石と献灯がある。発掘調査や縄張調査は今後の課題である。

参考文献 『穎娃町郷土誌』 穎娃町郷土史編集委員会 1990年

『南九州市文化財ガイドブック（穎娃地区）』 南九州市文化財課 2016年

